

名古屋学院大学 地域活性化支援組織LINKS

活動実績調書

(1) 活動の名称	IT講習会～あらためてITを学ぼう in 瀬戸～
(2) 活動の目的・成果 (※何を目指し、何が成果として得られたかについて記載)	<p>Society5.0の時代の中でITを使える人と使えない人の間の差を少しでも埋め、みんながITを使えるようになっていただくことを目的として活動させていただきました。活動を実施した中で、参加していただいた瀬戸市民の方々と学生自身のITスキルを向上させることができました。また、アンケートの結果満足度95%を達成することができました。</p>
(3) 活動の実施内容 (※活動の実施方法、時期、場所、回数、市民等への周知方法、参加人員等を含め、その内容を具体的に記載)	<p>実施方法 : 受講者の方々に学生が今年のアンケート結果を踏まえ、受講者のニーズに応えられるよう一から作成した教科書を配布し、マンツーマンに近い形で受講者の方々のレベルに合わせて実施させていただきました。</p> <p>日時・回数 : 9月3日(火)～9月6日(金) 1日2講義 計8回</p> <p>活動場所 : 名古屋学院大学 瀬戸キャンパス</p> <p>周知方法 : 広報せと様を初め、本年度は、ラジオサンキュー様でも告知させていただきました。また、学生自作のチラシをコンソーシアムせと様や支所に置かせていただきました。</p> <p>参加人員 : 学生 41名 受講者 1講義30名 延べ240名</p>
(4) 活動実施上の工夫 (※活動の趣旨・目的達成のため、特に創意工夫した点について記載)	<p>講習会に参加していただいた受講者の方々が自分のレベルに合わせた理解度に到達していただき、ITを新たな生きがいに感じてもらえるようになることを趣旨として活動させていただきました。受講者個々のレベルが違う中で、一人一人の進行速度に合わせて進められるようマンツーマンに近い体制で講義を進行しました。また、受講者の方々のレベルに合った練習問題を多く用意することで、受講者の方々が更にレベルアップできるように工夫しました。</p>
(5) 活動実施上の反省点 (※具体的な反省点等について記載)	<p>アンケートの結果にティーチングアシスタント間での知識の差やティーチング力の差があるという意見があったため、講義の前にティーチングミーティングを更に入念に行い、情報共有をすることで改善につながると考えています。</p>